



**問題1** ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を使った事件に、子どもが巻き込まれるケースが相次いでいます。SNSは便利な半面、【           】ため、情報の発信には注意が必要です。【           】に当てはまる文言を、次から一つ選びなさい。(4級)

- ① いったん広がった情報は完全に消すことが難しい
- ② 発信した情報を他の人が見られるようになるまで、時間がかかる
- ③ 情報を発信する際、発信者がどこの誰であるかを名乗らなければならない
- ④ 住んでいる地域が他人に知られることは決してない

**問題2** 地球温暖化を食い止めるための国際ルール「【 A 】」による取り組みが、2020年から始まります。各国は自国の事情に合わせて決めた【 B 】の排出削減目標の達成を目指します。【 A 】【 B 】に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、次から一つ選びなさい。(4級)

- ① A-パリ協定            B-温室効果ガス
- ② A-パリ協定            B-フロン
- ③ A-京都議定書        B-フロン
- ④ A-京都議定書        B-温室効果ガス

**問題3** 世界の自動車業界で、「EV」の開発競争が激しくなっています。ガソリン車と違って、走行中に排ガスを全く出さない「EV」は、日本語で何といいますか。正しい言葉を次から一つ選びなさい。(4級)

- ① 自動運転車            ② 電気自動車
- ③ ハイブリッド車        ④ ディーゼル車

**問題4** フランシスコ・ローマ教皇が2019年11月、来日しました。ローマ教皇庁があるバチカン(バチカン市国)について、誤っている説明を次から一つ選びなさい。(3級)

- ① 世界で最も面積が狭い国だ。
- ② イタリアの首都ローマの中にある。
- ③ ローマ教皇とは別に、国民の選挙で選ばれた国家元首がいる。
- ④ 主にキリスト教カトリックの聖職者たちが住んでいる。



長崎市を訪れたフランシスコ・ローマ教皇=2019年11月

**問題5** 日本の宇宙開発・宇宙利用について正しい説明を次から一つ選びなさい。(3級)

- ① アメリカがかつて進めた「アポロ計画」には日本も参加し、日本人宇宙飛行士が月面に降り立ったことがある。
- ② 国際宇宙ステーション(ISS)にある日本の実験棟は、「みちびき」の愛称で呼ばれている。
- ③ 日本の人工衛星「はやぶさ2」は、全地球測位システム(GPS)を補う役割がある。
- ④ アメリカが現在進めている「アルテミス計画」に日本も参加することを決めた。

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	5
年 組		氏 名			
番号					

※今回の問題と「正解と解説」は、人名・肩書や国名・組織名を含め、2019年12月中旬時点の情報に基づいています。



正解と解説

問題1 正解 ①

インターネット上の情報はいったん拡散すれば、コピーされたり保存されたりする可能性もあります。完全に消し去って「なかったことにする」のは難しいです。②発信した情報は瞬く間に広がります。③「匿名」で情報を発信できます。④住所などが特定される場合もあります。

SNSは、ネット上で会員として登録した利用者同士が交流できる仕組みです。手軽にやりとりできるため便利な一方、犯罪に巻き込まれることもあります。警察庁によると、2018年にSNSを使って犯罪に巻き込まれた18歳未満の子どもは1811人で、過去最多だった2017年の1813人とほぼ同じ高い水準でした。

問題2 正解 ①

「京都議定書」は、パリ協定の前身の国際ルールで、温室効果ガスの削減を先進国だけに義務づけていました。一方、パリ協定は発展途上国も含む全参加国・地域が削減目標を決めます。ただし、目標の内容は各国・地域に任せられ、達成できなくても罰則はありません。

温室効果ガスの排出量は増加傾向にあります。国連環境計画(UNEP)が2019年11月に公表した報告書によると、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)など温室効果ガスの排出量は2014~16年がほぼ横ばいだったものの、過去10年は平均して年1.5%のペースで増加。2018年は553億トと過去最高になりました。

問題3 正解 ②

車に積んだ蓄電池にたくわえた電気でもーターを動かして走る車です。国内外の自動車会社はEVの開発に力を入れ始めています。

2019年のノーベル化学賞を受賞した吉野彰(よしの・あきら)さんら3人の研究者が開発したリチウムイオン電池は、EVを動かすのに使われています。リチウムイオン電池は軽くて小さいのに大きなパワーが出ることが特徴で、スマートフォンや携帯ゲーム機、国際宇宙ステーション(ISS)にも使われています。

問題4 正解 ③

ローマ教皇はキリスト教の最大宗派、カトリック教会の最高指導者であると同時に、バチカン市国の国家元首でもあります。ベネディクト16世が高齢を理由に退位し、2013年に現在のフランシスコ教皇が就任しました。

フランシスコ・ローマ教皇が2019年11月、来日しました。キリスト教カトリックのトップである教皇が来日するのは、1981年のヨハネ・パウロ2世以来、38年ぶり2回目です。滞在中、長崎と広島を訪ね「核兵器を保有することは倫理に反する」などと「核なき世界」の実現を訴えました。

問題5 正解 ④

日本政府は2019年10月、2024年までに宇宙飛行士を月面着陸させるアメリカの「アルテミス計画」に参加すると表明しました。月を周回する新型宇宙ステーションへの物資補給などで貢献し、宇宙開発における存在感の維持を図ります。

①こうした事実はありません。②「きぼう」です。③「みちびき」(2~4号機)です。日本は、アメリカが開発したGPSを利用してきました。みちびきの本格稼働でスマートフォンの位置情報などがより正確になりました。「はやぶさ2」は小惑星「リュウグウ」の着陸に成功し、2020年に地球に帰る予定の探査機です。